

言語

こそあど言葉（指示語）

名前

	こ	そ	あ	ど
ものごと	これ この	それ その	あれ あの	どれ どの
場所	ここ	そこ	あそこ	どこ
方向	こちら （こっち）	そちら （そっち）	あちら （あっち）	どちら （どっち）
様子	こんな こう	そんな そう	あんな ああ	どんな どう

「この」「その」「あの」「どの」などのように、「こそあど」で始まり「もの（人）」「場所」「方向」「様子」などを指示する言葉を『こそ・あ・ど』言葉といっています。

やってみよう

次の会話に合う「こそあど言葉」を入れましょう。

（おかしは、手作りですよ。いかがですか。）



（お月さまきれいだね。）



（でころんだの？）

運動場です。



（やって一輪車は、練習すれば上手になるよ。）



言語

こそあど言葉（指示語）

名前

こたえ

	ものごと	場所	方向	様子
こ	これ この	ここ	こちら (こっち)	こんな こう
そ	それ その	そこ	そちら (そっち)	そんな そう
あ	あれ あの	あそこ	あちら (あっち)	あんな ああ
ど	どれ どの	どこ	どちら (どっち)	どんな どう

「この」「その」「あの」「どの」などのように、「こ・そ・あ・ど」で始まり「もの(人)」「場所」「方向」「様子」などを指示する言葉を『こ・そ・あ・ど』言葉といっています。

次の会話に合う「こそあど言葉」を入れましょう。

（この）おかしは、手作りですよ。いかがですか。

話し手の近くにあるものを指しています。



（あの）お月さま大きいね。

話し手からも相手からも遠くにあるものを指しています。



（どう）でころんだの？

運動場です。

指し示す場所がはっきりしていません。



一輪車は、（こう）やって練習すれば上手になるよ。

話し手の近くの様子を指しています。

